※令和４年度以降入学生用

学校番号	3020

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校標準　古典探究　（第一学習社）						
副教材等	みるみる覚える古文単語３００＋敬語３０　（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次に身につけた基礎的・文法的事項等をもとに古典作品を読み、多くの先人の思いや知恵を学び、国際社会で様々な人とかかわるこれからの人生に生涯にわたって生かせるようにしっかり身につけましょう。
・文法事項や古文単語、漢文の句法等は必須となります。1年次の復習にもきちんと取り組んでおきましょう。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、即興で見事に返歌をした小式部内侍の歌才を味わう。 ［教材］ 古今著聞集　小式部内侍が大江山の歌のこと	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。文語のきまりについて理解を深める。 b：[読]著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 c：積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。和歌の修辞について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしたりしている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	作者が取り上げている事物や対象、経験などを通して、当時の人のものの見方や考え方に触れる。 ［教材］ 枕草子　雪のいと高う降りたるを	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。「雪のいと高う降りたるを」「木の花は」では、我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。文語のきまりについて理解を深める。 b：[読]作者が取り上げている事物や対象、経験などを通して、当時の人のものの見方や考え方に触れる。随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 c：随筆に表れたものの見方、考え方を積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。学習の見通しをもって『枕草子』を読み、随筆の特徴について理解を深めようとしている。漢詩文と関わりのある章段を読み、我が国の文化と中国の文化との関係について、積極的に理解を深めようとしている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ［教材］ 画竜点睛	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。訓読のきまりについて理解を深める。 b：[読]現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 c：故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析

※令和４年度以降入学生用

2学期	物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ［教材］ 伊勢物語　初冠	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。歌物語の特徴について理解を深める。文語のきまりについて理解を深める。 b：［読］物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。 ［教材］ 竹取物語　かぐや姫の昇天	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。文語のきまりについて理解を深める。 b：［読］平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 c：平安初期の作り物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。学習の見通しをもって平安初期の作り物語を読み、その特徴について、理解を深めようにしている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	諸葛亮が劉備に進言した策について理解するとともに、両者の関係を把握する。 ［教材］ 水魚之交（十八史略）	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。訓読のきまりについて理解を深める。 b：［読］諸葛亮が劉備に進言した策について理解するとともに、両者の関係を把握する。史伝という文章の種類を踏まえて、構成や展開を的確に捉える。書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 c：積極的に史伝を読み、時代背景をふまえて登場人物どうしの関係を捉えようとしている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析

※令和４年度以降入学生用
　学習の活動

3学期	鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ［教材］ 方丈記　ゆく川の流れ	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。我が国の文化の特質について理解を深める。文語のきまりについて理解を深める。 b：［読］鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。和漢混淆文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c：作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。文体の歴史的背景をふまえて『方丈記』を読み、学習課題に沿って、表現の特色を評価しようとしている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、発展期の和歌を鑑賞する。 ［教材］ 古今和歌集	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める。我が国の文化の特質について理解を深める。文語のきまりについて理解を深める。 b：［読］わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、発展期の和歌を鑑賞する。和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 c：和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。対象の捉え方や表現方法の時代による変化を理解し、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ［教材］ 中国の詩	a：漢詩の特徴について理解を深める。漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。訓読のきまりについて理解を深める。 b：［読］漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。漢詩を鑑賞して、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c：漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析

※令和４年度以降入学生用

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　３５　）時間